



子供を甘く見るなよ Returns

Kantai-Collection Unofficial Fanbook #06
Syota Teitoku X Nagato (Hutanari) Presented by vlt5ka

DOJIN
ふたなり 
ふたなりが登場します

両性異有的な
人物が登場します



シヨタ提督が出てきます。
本番ナシです。
後天的ふたなり要素を含みます。
続き物ですが無印verを読んでいなくても読める仕様です。
すみません、今回縄要素ありません…。

子供を甘く見るなよ
Returns

Kantai-Collection Unofficial Fanbook #06
Syota Teitoku X Nagato (Hutanari) Presented by いけちか

前回までのあらすじ

甘えたがりのシヨタ提督の元で秘書艦を務める長門は、遊びたいとぼやくシヨタ提督を叱咤しつつ、その日も仕事をこなしていた。

しかし背後から忍び寄るシヨタ提督に突然謎の【クスリ】を注射され意識を失ってしまう。目が覚めたら裸で手足を拘束されており、しかも何故か興奮してきてしまう。

シヨタ提督が注射したのは「試用艦娘専用興奮誘発剤」だった。それに触発され淫らに処女を散らしてしまった長門だったが…

戦艦長門秘書艦

当鎮守府の秘書艦・主力艦。
ウブで負けん気な性格だが
快楽には滅法弱い。(無自覚)

シヨタ提督

当鎮守府の提督。
表向きは無邪気な性格だが
実際は腹黒くゲスい。

提督!!
これはどごう事だ!!

更なる近代化改修と
聞いてみれば…ッ!!

ステータス値が
上がるどころか
こ…こ…

ド!

股間にッ
その…ッ!!

ち、ち…

キ
ユッ

そう

生体装備
『Z型陰茎』

平たく言えば
『ふたなりちんぽ』を
着けて貰ったワケ!

これは大本営直下の
研究所で作られた
娯楽用装備なんだけど
そのサンプルを特別に
譲って貰ったんだよね

いや、全く訳が
分からないのだが

はあ~~~~
!?

まあつまり
長門の独断で
外すことは不可能だし

試作装備だから
試用演習が
必要なんだよね

なっ…

は…?

それに
こんなモノが着いてたら
皆とお風呂にも
入れないだろうし

出撃して負傷しても
誰かと一緒じゃ
ドックにも入れないよね

そもそも誰かにバレたら恥ずかしいだらうし

「ボクの大切な秘書艦の長門しかこの装備の事を知らないから

長門におちんちんが着いてるのを知ったら皆どう思うかなあ？

——という事だから長門、分かるよね？

「試用演習」しようか？

……ジュン!!

………了解した

カ
キ
ヤ

これで良し！
それじゃあ
始めるよ

また…

うう…
たかが装備とはいえ
晒されるのは
恥ずかしいな…

ア
ッ
ッ

まずは神経の
伝達チェックね

地下牢で
拘束されるのか…

声とかガマン
しなくていいから

…声？
この長門が？

そういう前フリ
ボクもう
飽きちゃったよ

はあ

そんなものを
げるとでも…？

はっ？



あはっ
神経の方は
大丈夫そうだね



な、何だ！？
電流のような
感覚がッ

ゼリゼリ

ゆ、指で弾かれる
たびに……ッー



あはっ

勃ってきた



電流が脳天まで
駆け抜けて……ッ!!



こ、これは
「グレ」が
勝手に……ッ!!

ふうん?

えいっ♪
えいっ♪

「勝手に」
かあ〜

成程ね

じゃあ勝手に
気持ち良くなって
射精も
しちゃうんだね

はあ!?

しゃ、射精…!?
そんなもの
してたまるかっ!!

へえ?

それじゃあ
精々頑張つてよ

みっともなく
射精しない
ように♪

は……?

提督は
何を……

フゥ…
ん…

さ、さっしきで
違う感覚が……ッ

体中の血液が
下半身へ
集まってるからなんだ

陰茎をカリカリと
搔かれる度に
また血液が脳天へと
登りつめて……

あ、あ、あ

むず痒さで
頭がどうにか
なってしまうそうだった

このままでは
決壊してしまうッ♡





あ……♡

あはっ
長門のちんぽ
大きくなりすぎ♪

はあ……♡

ボクの口じゃ
全部入らないや

長門は
どうして
欲しい？

先っぽじゆるじゆる
吸って欲しい？
それとも……

ムム

も~~~~と
焦らして
あげようか？

ア
ン
ン

はあ……♡

はあ……♡

んんん



すぐ射精
しちゃうかな？

えっ

ひっ



ん

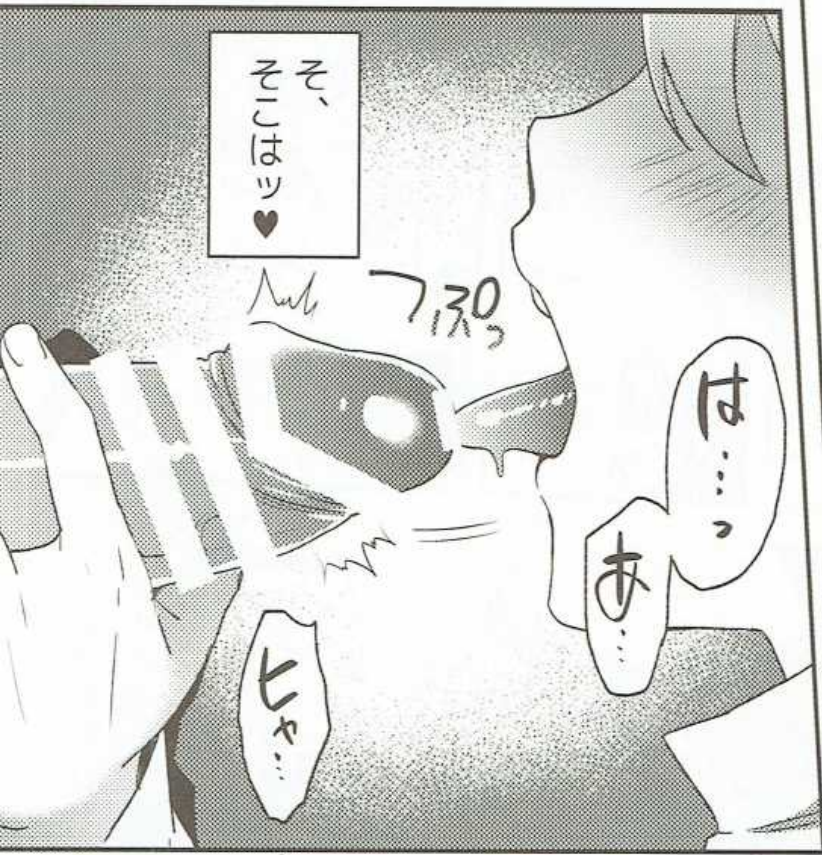
ひゅん!!

先っちよだけ
いじめたら

どうなっっちゃう
かな？

ハクッ

や



そ、
そこはッ
♡

ん 7.30

は...

あ

ヒャ...



ペロペロ
しちゃうおっかな？

おしっこ穴
コリコリして
あげようかな？

はっ

あ

生暖かい息が
先に当たって...ッ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

まずい…
下半身が切なく

あーっ
あーっ
あーっ

しーっ
しーっ
しーっ

なっつき…
ああッ♡♡

アツ

カクカクって
腰まで
振っちゃってさ

あはっ
長門の
おしっこ穴

ぱくぱく
動いてて
面白〜い♪

ガクンガクン

たいして刺激を
受けてなど
いないのに♡

たまらなく
気持ちイイ♡

クッ
クッ



長門はえっちだから
きつとクセに
なっちゃうと思うよ



初めての射精、
きつとすごくお
気持ちいいよ



射精、
したいでしょっ



我慢が…っ
出来ないいいっ♡♡



あ、だめだ

れるっ

尿意のようになっ
感覚がせり上がってっ



な、なんだ!?
これが射精…?

♡♡♡
♡♡♡

こんなの
気持ち良すぎる♡

ニロニ
ニロニ

ニロニニロニ
ニロニニロニ



ちょっと大変かもしれないけれど長門なら平気だよな?

次は射精回数の上限テストだからね



声、よくガマン出来たね!

初めての射精はどうだった?



あはっ

まんこもドロドロになっちゃってる♪



びゅっ!!

びゅっ!!



あうっ♡
ち、乳首まで♡

ひゃっ♡



じんじん
しん...♡

あうっ♡
あうっ♡

そんなに
吸われたら
ま、また下半身が



射精回数の上限は
内緒なんだけど！
多分大丈夫！

うんうん
ちんぽうん
それじゃあ始めようか！



あ、勃ってきた
勃ってきた♪

あうっ♡
あうっ♡

あうっ♡

はー

あうっ♡

あうっ♡

あうっ♡



先っちょをこうやって

手のひらで

くーるくるる
くーるくるる

やめろお!!

やめ

くーるくるる
くーるくるる

あっ!?

トッ!?

いいんだよ
バカになっても
何回イっても
良いんだし

たーくさん気持ちよく
なるのは長門も
大好きだもんね?

イッたばかりの
敏感ちゃんぽを
無理やりしごかれたら

おちゃんぽがバカに
なっちゃうね

あっ

あっ

おっ

あっ

あっ

あっ

あっ

はっ
はっ

それとも
気持ちイイの
嫌い?
違うよね。

我慢なんて
やめなよ

いっちやえ!!

びびり
びびり
びびり

びびり
びびり
びびり





射精じゃ
なかつた
のかあ…

ぜ
は

これ、
もしかして
潮吹き…？

あれ？

かかっちゃった
じゃん！

うわっ！



気を取り直して
どんどんいこー♪

嘘、だろ？

もう…

やめ…

じゃあ今のは
ノーカウント！

だって射精回数
のテストだもん！





インターバル
長くなってきたなあ

長門なら
まだイけそうな
気がするんだけど…



これで
4発目かあ



初めて
見るでしょ？

これで
限界まで
がんばろうね♪



オナホール♥

：コレ
使っちゃおっか

!?



ていとく...
も、もう...ッ

無理だ...

5回

...

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ



ひやへ、ていとく
もう、りやめらあ

え？
何て？

も、ちんぽ

痛ッ

はっ

取れて
しまううう!!



やらっ!!
痛いいいッ!!

提督うう!!

いきたく
ないいっ!!

ちんぽ
ため

いた
いた

あ
あ

あ
あ

あ
あ



長門？

ほま

6回も
射精出来たね！

長門…

ほま

わあ
すごい！

ほま



流石に無理させすぎちやったかな

連続射精回数
6回……と

各神経接続の問題は無し

ボクも顎とか手とか疲れたし……

：長門はボクのこと嫌いかもしれないけど

ボクは長門の事が好きだから……特別な色々やりたくなっちゃうんだよ

なーんて聞いてないかあ

長門は子供に センズリレクチャーされるようです

火田

「ところでさ、長門。今、股間に生えているソレがムラムラしてきちゃったときに、どうやって処理すればいいか、分からないよね」

「なんだっ、藪から棒に。そ、そのくらい……知っている！」

「へえ。知ってるんだ。長門はオスのオナニーの仕方をちゃんと知っていたんだね。偉い偉い。長門はちゃんぽ勉強熱心だなあ」

「んなっ、うっ、ぐぐうっ……いやその……言葉のアヤだ。詳しいことは……知らないぞ。」

「ふうん。あ、そう。そんなことだろうと思ってたけれど。ねえ、長門」

「なん……なんだ。なぜ私に近づいてくる。」

「ボクが教えてあげようか？ ちゃんぽの性欲処理の仕方……♡」

「なっ……？ い、いや、いやだ！ そんなこと、知りたくない！」

「ふうん？ それじゃあ長門はこれから金玉がうずうずしてちゃんぽが硬くポツキして、いともたつてもいられなくなっただけにどうする気かな？ 我慢するの？」

「ううう。もちろん……そのつもりだ。」

「いいや無理だね。だって長門はスケベなもの。だから

早晚、ボクのところを駆け込んできて、性欲をもてあました巨根を見せつけながら、いやしくちゃんぽの整備をねだるに決まっている」

「誰がそんな恥知らずな真似をするものかっ！」

「でしよう？ だからオナニーの方法を覚えておこうね。ほら、こんな風に、ちゃんぽを握って、シコシコさせるんだよ」

「ほっ♡ おおおっ♡ い、いきなり、ちゃんぽを、擦

るなっ♡ ああああ♡ 小さな手が私の醜いデカブツ

をしゅこしゅこ這い回ってエエっ……♡ シオオ♡

だめっ♡ また、下半身が、しびれて、とろけてっ♡ く

ひひひっ♡

「ほら長門、ちゃんぽ擦ってもらえたからってうっとりしてないで。自分でやらなくちゃダメだよ。ほら、自分の手でちゃんぽを挿んで？」

「い、いやだ。そんな、恥ずかしい……」

「それならこのままずっとボクがシゴキ続けるけど、それでもいいの？ あ、そっちのほうがいいのか。長門はわがままドマゾのスケベちゃんぽだから、いつでもボクの手を欲しがっているんだもんね」

「そんな……そんなことはない！ わかった、自分で握るっ……！」

「こう……で、いいのか……？」

「うんうん、そう。自分のちゃんぽ、ちゃんと自分で面倒見られるようになるうね」

「あああ……私の手のひらに、熱くて、硬い、肉の感触が……♡ こんなグロテスクな代物が自分の身体の一部だなんて、信じられないっ……♡」

「さて。わあ、さすが長門は手が大きいな。ボクの手よりも二回りは大きいや」

「えっ？ 私の手に、手のひらを重ねてきて、何をやるつもりだ……？」

「決まっているじゃないか。こうするんだよっ♡」

「アヒイイイっ♡ 私の手を挿んで、動かして……」

「オッ、オオッ、オオオッ♡ 感じるっ、ちゃんぽ感じてしまおううっ……♡ 私の手が、シコらされているっ♡」

「ゴシゴシゴシゴシ、自分のいやらしい性欲ちゃんぽを、

情けなく慰めさせられているうううっ♡

「セ・ン・ズ・リ、って言うんだよ、長門。ちゃんとやり方を覚えようね♡」

「ああああ♡ センズリ♡ センズリ♡ センズリ

イイイっ♡ センズリのやり方だなんて、知りたくなかったのにっ♡ 無理矢理覚えさせられるっ♡ この、ピ

ッグセブンがっ♡ 戦艦長門がっ♡ こんな小さな子

供にっ♡ 自分で自分のちゃんぽを気持ちよくするやり

方をつ♡ せつ、センズリイっ……♡ 仕込まれてし

まうううっ♡

「腰をびくびく震わせて、恍惚とした顔になって♡ たいふたかぶってきたのかな、長門。ちゃんぽ気持ちいい？」

「そんな、そんな、そんなことは、ないっ♡」

「なるほど。じゃあまだ足りないのかな？ 左手も使おうね。はい」

あっ……私の左手をとって、根本に添えるように……

「ほら、両手でちんぽをしっかり覆って？ 両手センズ

リも覚えちゃおうね、長門♥ はい、両手を互い違いに、

ゴシ、ゴシ、ゴシ、ゴシ♥ いっぱいちんぽシゴこう？」

あああああ♥ 私っ、こんな、いやらしいことはっ

かり身につけさせられるうううっ♥ ンオオオッ♥

オオオッ♥ オオオッ♥ 気持ちっ、気持ちよくなるっ、

我慢できなくなるっ♥ 気持ちっ♥ 気持ちいいっ♥

いっっ♥ ちんぽ気持ちいいっ♥ ああああっ♥ セ

ンズリさせられてちんぽが気持ちよくなるうううっ

っ♥

「うんうん、だいふ覚えてきたね。それじゃあ、ひとり

でやってみようか」

えっ。あっ……手を離された……

「どうしたの長門、手が止まっちゃってるよ？ ほら、

自分ひとりの手で頑張ってちんぽセンズリしよう？」

えっ……いや、そんな、だっ……恥ずかしい……

「そんなにギンギンにボッキさせて、てっかい金玉もき

ゆんきゆん震わせてるの？ 先走り汁だっって次から

次へと溢れ出して、床まで垂れちゃってるじゃないか。

何を今更我慢してるの？」

ううううっ、そんなことを言うなっ！ ちんぽが手の

中でピグンピグン不気味に震えるっ……はひいっ……

♥ でも、でも、だっってだっってっ！ そんな、お前に見

られながら、自分でするなんてっ……！

「ああ、そう？ じゃあ長門のアナルをほじくって、強

制的に射精させてあげようかな」

や、やだ！ 絶対やだっ！ ひいっ、想像するだけで

おぞましい！ 分かった、するっ、自分でするからっ！

長門、ちゃんとセンズリするからああっ！

「はいはい。まったく長門は手が掛かるなあ。ほら、さ

っさと始めて？」

う、うううっ♥ 先走り汁に濡れをぼったちんぽを、

こうして、自分の意志で、じゅこじゅこっ……♥ うう

ひっ♥ きっ、気持ちいいっ♥ 両手を動かすたびに、

ちんぽが浅ましく快感を覚えてしまうっ♥ あっ、あっ、

あひっ♥ おおっ、おっ、オホオッ♥

だ、だからイヤだったんだっ♥ 気持ちよすぎて、あ

ああ♥ 手が止まらなくなってしまううっ♥ スケベ

なちんぽ本性を露わにしてしまうっ、ちんぽ快感が大好

きだっって自ら行動で示してしまうっ♥ 今までは提督

に動かされていたからと言いついできていたのになっ♥

恥ずかしい恥ずかしいっ♥ 私、誰がどう見ても、自ら

進んで、センズリコいてるっ♥

「長門のセンズリは見応えがあるなあ……すごい。残像

が見えるほど手が激しく動いて、飛沫があちこちに舞っ

てる。ちんぽオナニー大迫力だ、さすが長門だね」

だっって手が勝手に動くっ、重たいザーメン格納庫が爆

発寸前で、理性で止められないっ♥ ちんぽっ♥ ちん

ぽっ♥ ひいひいっ、戦艦長門の肉体がっ、金玉本能

の命令に従ってしまううっ♥ 何を差し置いて、精子

射出命令を最優先してしまううっ♥

ああああっ♥ ダメ♥ ダメだ♥ こんなのダメ

ッ♥ おおお♥ おっほおおお♥ はっ、はへっ、お

おおおおおっ♥ ウブで童貞な長門ちんぽっ♥ 自

分でちんぽを気持ちよくする方法なんて覚えたらっ♥

センズリ中毒になってしまっ♥ 四六時中ちんぽい

じりする艦娘になってしまっ♥ ああああ♥ あひ

いっっ♥ 両手でぐちゃぐちゃするのきぼちいっ♥

これきぼちいっ♥

「うわ、右手の平で亀頭を包み込んでぐりぐりしてる

♥ ボクはそんなことを教えてないのに、長門はちんぽ

学習能力が高いね♥ ちんぽ快感に食欲だね」

あはあっ、ああっ、あああああっ♥ ふーっ、ふー

っ、おおおおっ♥ とっしり金玉の奥から、あああ、濃

いのが込み上げてくるっ……♥ 疼きまくりの睾丸か

ら、オス性欲の塊がっ、ずくずく来てるっ♥ ひ、ひ、

ひいひいっ……♥ 硬い肉棒を必死になってゴシゴ

シ擦ってえっ♥ 自分の意志でイキ汁出すうっ♥

出すぞ、出すっ、射精のためにセンズリ頑張ってしまう

っ♥ ハフッ、ふ、フヒーツ♥ ふっ、ふっ、ふひうふ

っ♥

「あはっ、もうボクの声も聞こえないほど夢中になっちゃって。よしよし。優秀な長門には、ご褒美をあげようね。それ」

ひいひいっ？ わ、私の金玉が、優しくつままれてっ……♡ ホオオ♡ 親指で、ふに、ふに♡ こり、こり♡ あっがああっ♡ ちんぽが反り返るっ♡ 性欲が、増える、増えるっ、ますますスケベになるっ♡ ちんぽの疼きが限界を超えるううううっ♡

いっ、いっいっ♡ イグッ♡ ぐうっ♡ おおお♡

おほ♡ おほ♡ おほ♡ 長門タンクマツサ

ーシされながらっ♡ レクチャーされたばかりのセンズリでっ♡ たっふりと射精してしまっ♡ 提督に手伝われないながら、自分の手でっ♡ 濃厚なスケベをっ♡

搾り出してしまっ♡ ううううっ♡ ンおおおおおお

おおおおっ♡ 強いのが昇ってくるうううっ♡ 出るっ、出るっ、イクッ♡ イクッ♡ 自分で自分のちんぽに猛烈な快感を与えてっ♡ ひーっ、ひーっ、ひいひいひいひいっ♡ 汚い汁を撒き散らすううううっ♡

オオオオ出るううううっ♡
「ところで長門、このままでボクの顔に思いつきり長門の臭くて濃いセンズリザーメンがかかっちゃうけれど、いいと思ってるの？」

えっ！？ だ、だって、そんな、あっ、無理♡ ダメだ♡ 止まらなっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡

「うそうそ、ごめんね♡ いいよ、遠慮なく思いつきり

出して♡ いっぱいぶっかけて♡ はい、あーん♡」

あああああああああ♡ ばかあっ♡ 出すっ、出すっ、あああああ！ ごちゅごちゅごちゅごちゅとどめセンズリっ♡ ちんぽが燃えるほど摩擦してっ♡ ほおおおお♡ 提督の顔にっ、口にっ♡ 気持ちいい汁出すぞおおおおおおっ♡ おおおおっ、おほっ、ほっ♡ ほおっ♡ おっ♡ おあああああ♡ ああああっ♡

どびぶゆるるるるるるるううううっ！ ほびゆるるるるううううっ！ どびゅっ！ どびゅっ！ どぶゆるるるるるるるううううっ！

んおおっ♡ おおっ♡ おおおおおお♡ セリー

のような精液が、ドビュッて♡ ドビュッてえええ♡ こ、こんなに勢いよくっ♡ あひいっ♡ プライドも

理性も何もかも持って行かれるっ♡ 射精気持ちいいっ♡ きもちいいいっ♡ 下品な音を立ててザーメン

排泄するのきもちいいいっ♡
あああ、あっ♡ 今までじつくりと溜め込んでいた

金玉の中のむらむらもやもやが全部いっぺんに出るっ

種♡ 種♡ 種出すっ♡ 種エエ♡ うううう♡
長門のスケベ証明汁ううう♡ 提督の口に、顔に、べっ

たりとへばりつかせてえええっ♡ 卑しい、卑しい、なんて浅ましくて情けない真似をってしまったんだ私は

っ♡ おおお♡ でもまだ手が止まらなくて、あああ

またちんぽがビクビクっして♡ あっひっ♡ 意地汚くまだ出る出る出るっ♡ ンオオオっ♡ はへっ、へええっ、おおおお、オほっ♡

「ふえっ！ げっほっ、げほ、ふあっ！ まだ出すの長門！ ザーメンで濡れちゃうっ！ うわわわわ、後から後から熱くて重いのがボクの顔に降りかかってきてっ……うう、するするべとべとだあ。顔射していいよなんて言わなきゃ良かった……♡」

あ、あああ、あはっ、おお、おお、おお、おー……

ほおおお……♡

ああ……出し終えたとたんに、猛烈な虚脱感と、罪悪感が……うううう。私はなんて恥知らずな真似をしてしまったんだ……

「と言いつつ、しばらくしたらまたちんぽギンギンにして、覚えたばかりのセンズリをし始めるんだろうね、きつと」

ううう、うるさいっ！ そんなことは……

「ああ、でも安心してよ長門。センズリだけじゃ物足りないときは、いつでもボクの手でいっ……っばいちんぽ可愛がってあげるから♡」

う、ううう、うううううーっ♡

(終わり)

子供を甘く見るな

Kantai-Collection Unofficial Fanbook #06

Syota Teitoku X Nagato (Hutanari) Presented by いけちか

Returns

2015年8月14日 いけちか発行

池下真上(Twitter:maue_ike / Pixiv:ike_shita)

HP / <http://mykike89.wix.com/ikechika>

連絡先 / ikeshita_maue@hotmail.com

印刷 / 大陽出版

制作会社・著作権元等各関係者様とは一切関係は御座いません。
作品公式関係者様・未成年の方への譲渡、オークションへの出品
インターネット上での無断アップロード・複写等はお止めください。

★後書き★

昨年発行した「子供を甘く見るな。」の続編というか亜種というか、
思いがけず反響を頂いたので私の個人的な性癖をマンマンにしてリターンズしてきました！
ゲスシヨタ提督が意外と好評で嬉しかったです。(こんなガキ掘っちまえ！という意見も含)
またシヨタ提督と長門を描く機会があればラブラブエッチにも挑戦してみたいです。

今回のゲストはあの「ふたなり淫語のファンタジスタ」火田さんをお願いさせて頂きました！
お忙しい中素晴らしいドスケベを本当にありがとうございました！！



Kantai Collection

Unofficial Fanbook #06

子供を甘く見るな。Retruns

2016.8.14

Presented by いけちか